

手弱女

開花期

花色

花重

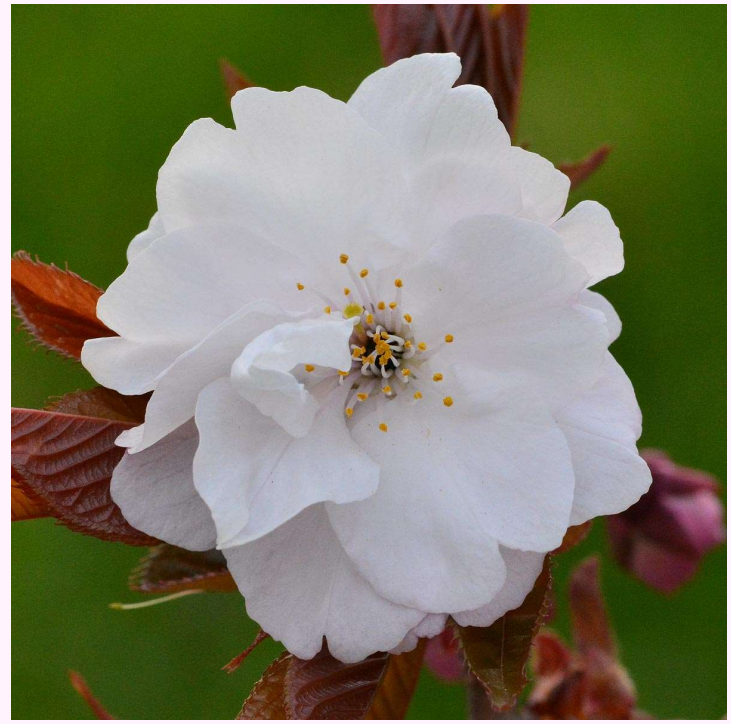
がく裂片鋸齒

3月下旬

花冠径

花弁数

小花柄毛



京都の平野神社に原木がある、手弱女とはしとやかな女の意で、花の優雅さがたとえられたと考えられている、やや大きく淡紅色で8-15枚の花弁をつけ、紅紫色のがく筒部のしわが目立つ、京都から「衣笠」として流通することがあり、学内の個体も「衣笠」として導入された

